

## 2021年 第6回日本脊椎脊髄病学会・日本側弯症学会合同社会保険等システム検討委員会 議事録

日 時：12月15日（水）18：00～19：00

場 所：Web Zoom

出席：日本脊椎脊髄病学会：大鳥精司（担当理事） / 遠藤健司（委員長） / 酒井義人 / 鈴木秀和 / 高野裕一 / 平井高志 / 平泉 裕 / 牧 聡 / 宮城正行 / ◇山縣正庸

側弯症学会：宮城正行（委員長） / 谷口優樹 / 青田洋一 /

欠席：新井嘉容 / 渡辺航太 / 辻 崇 / 種市 洋（担当理事） / 酒井大輔 / 八木 満 / 井上 玄 / 藤田順之

### 外保連担当

JSSR 手術：遠藤、渡邊、実務：鈴木、牧、検査：高野、平井、処置：委員長平泉、鈴木、平井、麻酔：平井、広報：高野

画像診断試案作成 WG：平井、生体検査医療材料 WG：高野

側弯症 手術：藤田、八木、実務：井上、宮城、処置：酒井大輔、検査：酒井大輔、麻酔：宮城

### 議事項目

1. JSSR 理事会より報告（大鳥先生）：硬膜外自家血注入療法については静観する
2. グラフトンの査定について（平泉先生）：1 椎間 2ml 以上で査定される傾向あり  
→全審会で問題提起する、適正使用について JSSR letter で周知する（理事会でも確認）
3. 2024 年度新規(5)、改正要望(8)、材料 (3) 委員、アンケートからの提案について（遠藤）
  - ・項目については積極的に試案に試案に載せるべきではないか
  - ・理事会でもアンケート結果を共有する
  - ・日本脊髄外科学会との協議は項目を絞ってから行う
4. 日本脊髄外科学会との連絡 1 月 21 日に向けて（遠藤）  
次回の会議で要望項目を絞ってから協議の予定
5. 椎間板内酵素注入療法技術料改定について（平井）  
プロジェクト委員会を経て倫理委員会に書類提出済。全 10 施設 200 症例ずつの予定。  
1 月に倫理委員会で承認されたのち、分担ミーティング予定。

- ・次回委員会は 1/12(水)18：00 より zoom にて。2024 年度の要望項目を決めていく。  
遠藤委員長の任期は、2022 年 3 月で終了の予定。

## アンケート結果

### 2 件以上希望のあったもの

#### 新規、改正

- ・再手術、多数回手術加算 8
- ・脊椎側彎症手術の注に後彎症矯正の追加、脊柱変形手術として一括 7
- ・肥満加算 6
- ・上位頸椎加算、後頭骨固定加算 6
- ・髄核融解術の投与手技、増点 5
- ・椎体形成と固定術の併用 4
- ・EOS 3
- ・椎体亜全摘あるいは骨切り術と側弯症・後弯症矯正固定術の併施 3
- ・内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算 3
- ・ロボット手術支援 2
- ・骨移植を伴わない椎弓根スクリュー挿入(椎間加算あり) 2
- ・顕微鏡加算 2
- ・頸椎後方椎間孔拡大、脊柱管拡大術との併施加算 2
- ・骨盤固定加算 2
- ・腰椎インストゥルメンテーション脊髄手術時モニタリング加算、対象疾患の拡大 2
- ・他院手術例の再手術加算 2

それ以外でも、下記より重要なものをあつたらご意見をお願いします。

- ・術中 CT 加算 1
- ・筋肉量測定 1
- ・術後感染掻爬手術 1
- ・脊髄ヘルニア 1
- ・脊髄終糸症候群 1
- ・肘部管症候群 1
- ・経皮的椎弓根スクリュー 1
- ・ACR 1
- ・癒着性くも膜炎手術 1
- ・くも膜下腔—くも膜下腔バイパス 1
- ・VBS ステントバルーン加算 1
- ・外傷性脊髄損傷に対する緊急手術 1

- ・後方内視鏡下椎間固定 1
- ・椎体セメントスクリュー固定 1
- ・術中脊髄モニタリング増点 1
- ・重度側弯症矯正加算(100度以上) 1
- ・ロッド入れ替え加算 1
- ・術中画像支援加算の増点 1
- ・化膿性脊椎炎に対する経皮的椎間板郭清術 1
- ・後方および側方経路椎体置換 1
- ・前後方同時手術の椎間加算 1
- ・脊髄腫瘍摘出術(硬膜外)の細分化(砂時計腫、硬膜内髄外腫瘍)の増点 1
- ・部分椎弓切除加算 1
- ・超音波凝固切開装置等加算の脊椎前方手術への適応拡大 1
- ・側弯症矯正術 (growing rod など) の最終固定術加算 1

#### 材料

- ・エアトームドリル、ボーンソーの刃、超音波骨メスのチップ 多数
- ・放射線防護手袋 多数
- ・脊髄モニタリングの電極
- ・PPS のガイドワイヤー
- ・BKP 時のキュレット
- ・ボーンミルのディスポ部分
- ・顕微鏡カバー
- ・術野に使用するバンコマイシン
- ・甲状腺防護用のディスポプロテクター
- ・ポリグリコール酸フェルトの脊椎領域での償還 (脳外では認められている)
- ・バイポーラシーラー (術式を絞って)

#### その他

- ・頰椎前方固定で骨移植が認められないことがある
- ・胸椎、腰椎手術を同時別皮切で施行したが、一方が査定された
- ・demineralized bone matrix の適正使用の指標
- ・腰椎 1 椎間でクロスリンクが査定される
- ・腰部脊柱管狭窄症で椎弓形成が認められない
- ・セルセーバーの算定要件が不明瞭

- ・ スクリュー長の違いにより材料費を分けるべき
- ・ 内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算は認めるべきでない
- ・ 髄核融解術は現行のままでよい
- ・ 術中画像支援加算は要件を厳密に定めるべき